

山行報告書

作成:2006年8月19日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	黒部五郎岳, 雲ノ平周回 [北ア]	目的[方法]	アルプス展望と自然観察
期間	2006年8月11日(金)~16日(水)	形態	テント泊(高天原山荘泊)
参加人数	2人		

行動記録:

8/11(金) 晴れ

岡崎(2120) =0:30= 豊田東 IC(2150) =0:50= 美濃関 JCT(2240) =0:35= ひるがの高原 SA(2315,2325) =0:15= 飛騨清見 IC(2340)[¥ 4,200] =0:40[20km]= 道の駅「アルプ飛騨古川」(020) TS0 就寝(0:45)

8/12(土) 薄曇り一時雷雨, 微風, 19

起床(4:20) TS0(440) =1:30[54km]= 料金所(610)[¥ 1,800] =0:45[25km]= 折立 PKG(655,740) -1:25- 三角点(905,915) -1:40- 太郎平小屋(1055,1105) -0:20- 薬師峠(1125)TS1 就寝(18:00)

8/13(日) 曇りのち晴れ, 微風, 12

起床(2:00) TS1(350) -0:20- 太郎平小屋(410,420) -1:45- 北ノ俣岳(605,615) -0:25- 赤木岳(640) -0:40- 中俣乗越(720,730) -1:30- 黒部五郎岳肩(900,905) -0:10- 黒部五郎岳(915,920) -0:07- 黒部五郎岳肩(927,935) -1:45- 黒部五郎小屋(1120,1150) -1:20- 三俣蓮華岳分岐(1310,1320) -0:45- 三俣山荘(1405)TS2 就寝(18:00)

8/14(月) 快晴, 微風

起床(3:00) TS2(500) -0:40- 黒部川水源地標(540,550) -1:15- 岩苔乗越(705,725) -0:10- ワリモ北分岐(735) -0:35- 水晶小屋(810,820) -0:35- 水晶岳(855,905) -0:40- 水晶小屋(945,955) -0:35- ワリモ北分岐(1030) -0:05- 岩苔乗越(1035,1100) -1:30- 水晶池(1230) -0:45- 高天原山荘(1315)TS3 就寝(17:30)

8/15(火) 快晴, 微風

起床(3:30) TS3(500) -0:35- 夢ノ原(535,555) -0:35- TS3(630,655) -0:55- 高天原峠(750,800) -1:15- 電波塔(915,930) -0:30- 雲ノ平山荘(1000,1025) -0:25- 雲ノ平キャンプ場(1050)TS4

OPT. TS4(1150) -0:15- 三俣山荘分岐(1205) -0:25- 祖父岳(1230,1245) -0:15- 三俣山荘分岐(1300) -0:30- スイス庭園(1330,1335) -0:15- TS4(1350) 就寝(18:15)

8/16(水) 快晴, 微風

起床(2:30) TS4(400) -0:25- 雲ノ平山荘(425,430) -0:10- 奥日本庭園(440,445) -0:35- アラスカ庭園(520) -1:25- 薬師沢(645,655) -2:10- 太郎平小屋(905,930) -1:10- 三角点(1040,1050) -0:55- 折立 PKG(1145,1210) =0:35= 亀谷温泉「白樺ハイツ」(1245,1405) =2:10[94km]= 飛騨清見 IC(1615) =0:35= ひるがの高原 SA(1640,1655) =1:35[渋滞]= 美濃富加関 IC(1830,1835)[¥ 2,650 通割¥1,350] =0:55= 岡崎 IC(1930)[¥ 2,650 通割¥1,350] =0:15= 岡崎(1945)

概念図:「立山・薬師縦走」、「裏銀・読売新道縦走」、「薬師・槍縦走」は別記録有



日誌:

折立までのルート: 飛騨清見 IC を出て、R158 から直ぐに左折し県道 90 号に入る。道の駅「飛騨古川いぶし」まで快適な道が続く。この先 R41 に出るまでは山村を縫う道幅が狭くカーブの多い道となるが、R158 で高山市内を經由するより時間短縮できる。神岡山前で R41 を右折して R471 に入り、神岡町和佐保、下之本を經由して有峰林道に入る。

折立の駐車場: 路上まで溢れていることが多いが、キャンプ場の奥(南西)にある広場(30台程度駐車できる)は空いている(知られていない)。トイレ左の未舗装路を 50m ほど入る。長期の場合は、路上よりこちらの方が安心して駐車できる。

テント場:

- ・薬師峠(TS1): 水場近くに快適な水洗トイレが新設(テント場外れの仮設トイレは撤去)されていた。傾斜地が多いので良好な場所確保は早めの到着が必要。ビールはテント場受付(薬師峠)で買える。
- ・三俣山荘(TS2): 山荘手前の登山道沿いにテント場が散在する。登山ルート of 要所なので山荘、テント場ともに混み合う。水場は山荘の手前、黒部源流への分岐手前にある。
- ・高天原山荘(TS3): ここにはキャンプ指定地はない。小屋に素泊まり(¥5,500)する。温泉まで片道15分、温泉セットと缶ビールを持って登山靴(サンダルなどではなく)で行く。温泉は囲いのある女性専用と開放的な混浴がある。ともに屋根付きの脱衣場所あり。
- ・雲ノ平(TS4): 雲ノ平山荘に立ち寄ってテント代(¥500/人)を払う。雪渓からの引水の貯水タンクがあり、これから溢れる水を利用する。植生保護のため緑色のロープで設営を制限している。祖父岳への登山道沿いは枠外になる。よって登山道も「通行禁止」になっている。テント場を大きく北側に巻く、ハイマツを切り開いた登山道が付けられている。

登山道:

- ・三角点から太郎平小屋までは展望は良いが直射に晒されるので、午前中早くの通過が好ましい。帽子、日傘、うちわなどの対暑グッズをお奨めする。
- ・黒部五郎岳から黒部五郎小舎: 殆どの方が肩に荷物を置いて山頂をピストンし、カールを降ってお花畑を巡るルートを探っている。岩稜を行く登山者は見かけなかった。
- ・水晶岳ピストン: 岩苔乗越にデポし日帰り装備で出かける。岩道トラバース、梯子などの狭所があり、混み合うと交互通行のため渋滞する。
- ・岩苔乗越から高天原: 前半は開放的沢沿いのお花畑の中を行くが、後半は展望もなく単調な林内をひたすら降る。
- ・高天原山荘から雲ノ平: 高天原山荘から岩苔小谷近くまで木道が整備されている。鉄の橋2本と、石伝いに小さな流れを渡り、高天原峠への登りに付く。降雨時は水嵩が増し渡河が危険になることを考慮しておく必要がある。高天原峠から暫くは坦々とした緩やかな登りだが、梯子3本の急登箇所が待ち構えている。ここを通過すればやがて展望が開け、岩がゴロゴロしたアルプス庭園を経て木道に出る。雲ノ平から高天原温泉へ“日帰り入浴”に出かける登山者は案外多い。
- ・雲ノ平から太郎平小屋: 奥日本庭園、アラスカ庭園を巡り、薬師沢への急下降が始まるまで木道が続く。薬師沢までは苔むして滑り易い石の道だ。西側斜面のため早立ちし過ぎると暗くて足元が危うい。薬師沢へは鉄梯子で降りる。赤ペンキの矢印に沿って川原を進み、再度鉄梯子を登り、吊橋(補修工事中)を渡って薬師沢小屋に着く。
- ・薬師沢から短い急登ではあるが何度か登り返しがある。その間は薬師沢の右岸を緩やかに巡って行く。鉄橋の架かる左俣が涼しくて休憩適地である。最後は背後からの強い陽射しに耐えながら太郎山へ約200m登りきる。

お花:

- ・本コース全体を通じてお花には恵まれているが、特に太郎山から北ノ俣岳、黒部五郎岳カール、黒部川水源地標付近、岩苔乗越から高天原などにお花畑が広がる。
- ・白・緑系花: チングルマ、ハクサンイチゲ、タカネヤハズハハコ、タカネツメクサ、ミヤマコゴメグサ、エゾシオガマ、ゴゼンタチバナ、ミヤマカラマツ、モミジカラマツ、イワツメクサ、ウメバチソウ、ホツツジ、コケモモ、イワイチョウ、ミツバオウレン、ミヤマダイヤモンドソウ、アオノツガザクラ、トウヤクリンドウなど
- ・黄・橙系花: ウサギギク、イワオトギリ、タカネニガナ、ミヤマコウゾリナ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマキンバイ、ミヤマキンボウゲ、クルマユリ、タカネスミレ、ミヤマアキノキリンソウ、オタカラコウ、ニッコウキスゲなど
- ・赤・紫系花: ハクサンフウロ、イワギキョウ、ムシトリスミレ、ミヤマママコナ、ミヤマリンドウ、タテヤマリンドウ、ヨツバシオガマ、タカネシオガマ、ミヤマトリカブト、ノアザミ、イブキジャコウソウ、コイワカガミなど
- ・黒系花: ミヤマクロユリ

感想:

天候に恵まれ、お花に恵まれ、メンバーに恵まれ・・・、北アルプスの展望とお花を満喫することができました。高天原に泊まった場合は、是非とも早朝に夢ノ平を訪れて下さい。朝靄に煙る幻想的な池と、池に映る朝焼けの薬師岳の景観にきつとご満足いただけることでしょう。